

一般質問



自由民主党市議団
豊福 達也 議員



市長の政治姿勢 コーホート変化率から見る 本市の可能性・人口減少対策

問 市民が正確な情報を知らず、判断する情報が少ないことなどから、市民に地場の取組を大いに発信すべきである。

答 本市の魅力を積極的に発信することが重要。また、本

市の産業、企業を広く知ってもらうことで地元就職への意識の醸成や定住促進を図る。

再発言 郷土愛を育む施策を沢山行うべき。大人の我々は次の世代へつなぐ責任があり、この議場にいる人間はもっと重たい責任がある。官民の力を合わせ、大牟田に誇りを持てる市政運営を強く要望する。

本市が目指す観光振興の 在り方・ナイトタイム エコノミーの推進

問 市の施策がどのような経済効果につながっているのか、

把握する必要があるのでは。

答 令和7年度に来訪者を対象とした消費額や滞在時間等のアンケート調査を実施する。

未来へ繋ぐ水道事業

問 能登半島地震や埼玉陥没事故が起こる中、目視での確認が困難なインフラの老朽更新には、あらゆる想定をする時期。水道DXを提案したい。

答 人工衛星を使った漏水調査やAI等の最新技術の導入に向けた検討を進めたい。



公明党議員団
平山 伸二 議員



市民の健康維持について (带状疱疹ワクチン)

問 带状疱疹は50歳代から発症率が高くなるとされており、令和7年度から定期接種となる带状疱疹ワクチンの対象者は65歳の人などで、50歳から64歳までの人は対象とな

らない。任意接種した人に助成している先進他市のように、本市も費用の一部助成を検討してほしいが、考えは。

答 まずは、国の方針に従った接種を着実に進めていきたい。

ハラスメント対策について

問 本市のハラスメント対策や取組を聞きたい。

答 平成28年4月に職場におけるハラスメント防止指針を策定し、ハラスメントのない

働きやすい職場づくりに取り組んでいる。本指針は全職員に周知するとともに、ハラスメント防止の心構えや基本的な相談対応等について、新たに管理職に昇任する職員を対象に研修を行っている。

消防本部では、平成29年1月に大牟田市消防本部職員指導指針を策定、全職員に周知し、外部講師を招いての研修等、職員のハラスメントに対する知識や意識を高めている。

消防団では、外部講師を招いた研修会を実施する予定。



自由民主党市議団
森 電子 議員



リーディングシティ としての本市の役割

問 第4次有明圏域定住自立圏共生ビジョン策定に当たったの考え方は。

答 第3次共生ビジョンの成果、課題、連携の拡大や新たな課題への対応等を踏まえ進

めていく。さらに福岡県県境地域振興ビジョンも踏まえる。

問 広域連携による活性化等は今や欠かせない取組。リーディングシティの市長としてどのような役割を果たすのか。

答 各自治体の独自性や強みを生かし、新しい視点等を取り込みながら持続発展可能なまちづくりを進める。本市の発展がこの地域全体の発展を先導していくことを目指す。

再発言 福岡県が県境地域全体の浮揚を図るという今こそチャンス。市長にはリー

ディングシティのトップとして力を発揮していただきたい。

今後の学校再編と 協働のまちづくり

問 今後行われる小学校再編は単に学校再編だけでなく、地域コミュニティの在り方や財政など、将来を見据えた方針を考える時期ではないか。

答 人口はまちづくりを検討する重要な指標。人口減少下であっても将来にわたって安心・安全に生活できるまちの実現を目指し取組を進めたい。